

ビスガからの風

第58号

2023年6月

社会福祉法人 近江ちいろば会
 ビスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4
 TEL.0748-74-3900(代表) FAX.0748-74-3910
 https://chiiroba.jp/

2022年度の成果と2023年度の取り組みについて

2022年度は、3年連続のコロナ禍での事業運営で、ご利用者様に感染予防のご理解をいただきながら少し窮屈な生活をお願いしなければならませんでした。職員も大変ストレスのある現場運営だったと思います。それでも何とか、一年間大きな事故もなく運営出来たのは、運営にご協力いただいたご利用者様、ご家族様、関係者の皆様、職員のお陰と感謝申し上げます。

コロナも一段落した今年度は、普通の暮らしを提供できるように、楽しいイベントや法人の夏祭りを織り交ぜて事業を行ってまいります。

12月には、甲賀市水口町で、小規模多機能型居宅介護事業所を開設します。地域の皆様が在宅でお暮らしいただけるようにこれからも励んでまいります。

今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

理事長 森口 茂

2022年度の成果

- 1：4会場の学会、セミナーで発題しました
 小規模多機能型居宅介護ほだいじみんなの家 滋賀医科大学在宅看取りセミナー
 法人直営 食堂 滋賀県老人施設協議会開催セミナー
 ほだいじデイサービスセンター いこい 滋賀県認知症フォーラム
 ほだいじデイサービスセンター 虹 滋賀県福祉学会
- 2：外国人雇用を促進しました
 ミャンマーから留学生2名 技能実習生2名
- 3：経営のわかる人材育成 グロービス経営大学院（短期コース）に6名参加しました
- 4：ノーリフトケアの取り組みを行いました 滋賀県福祉学会で優秀実践賞受賞
- 5：DXの取り組みが全社的にすすみ、情報共有、効率化が進みました

2023年の取り組み

- 人材投資を行い介護品質の充実した法人を目指します
 - 積極的に地域との共存を図り夏祭りの開催や地域イベントにも積極的に参画していきます
 - ノーリフトケアを進め利用者・職員に優しい施設づくりを行います
 - DXを積極的に進め、効率化をはかります
 - 感染症・災害に強い法人づくりを行います
 - 在宅生活を守るために投資を甲賀市水口町で行います
 小規模多機能型居宅介護事業所12月開設
- 2023年度方針発表会を行いました。

2023年度スローガン
 OMI CHIROBAKAI
 手遅れにならないために
「志を高く まず行動」

理事長の年間方針に続き、各管理者から事業方針を説明し、すべての職員と共有いたしました。
 各管理者から発表された事業方針は「理念経営の実践」に沿った内容で、これを道しるべに進んでいけば間違いないと確信しました。

人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい
OMI CHIROBAKAI
 社会福祉法人 近江ちいろば会

Instagram
 facebook

2022年11月12日 認知症啓発活動 地域講演会を開催

ほだいじデイサービスセンターいこい（認知症対応型デイサービス）は、湖南市認知症地域支援推進事業の一環として、2022年11月12日に渡辺哲弘先生を講師に招き、地域講演会を開催しました。

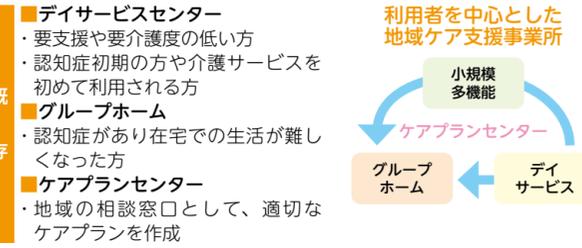
講演内容は、「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために」と題し、参加者からは住み慣れた環境での暮らしに関する多くの気づきを得られました。

約80名が会場に集まり、オンラインでも5か所をつないで多くの方に参加していただきました。2023年度も地域の皆さんへの発信を継続する予定です。今後も継続して、地域の方々の認知症に対する理解を深め、住み慣れた場所での生活を支援する拠点として、活動を続けます。



2023年12月 甲賀市水口町中邸に 小規模多機能型居宅介護事業所を新設します

1. 4事業所の連携



- デイサービスセンター
 - ・要支援や要介護度の低い方
 - ・認知症初期の方や介護サービスを初めて利用される方
- グループホーム
 - ・認知症があり在宅での生活が難しくなった方
- ケアプランセンター
 - ・地域の相談窓口として、適切なケアプランを作成
- 小規模多機能（通所、訪問、泊まりのサービスを提供）
 - ・既存のサービスでは、在宅生活が困難な方
 - ・病院から退院後に安心して在宅生活を送りたい方
 - ・老老介護・独居の方で、在宅で安心して暮らしたい方
 - ・在宅での看取りへの対応

それぞれの特性を活かし、入り口としてのデイサービス、中重度でも在宅生活をしたい方には小規模多機能、在宅での生活が難しくなった場合のグループホーム、相談窓口としてのケアプランセンターと、水口の馴染みのある場所で、近江ちいろば会が地域の高齢者を支えます。

2022年度 業務改善活動の成果発表

2月22日に15回目となる業務改善活動成果発表会が行われました。11の事業所が、「ご利用者様に直接関わる事」や「スタッフの働き方の改善」、「事業運営の見直し」など、幅広いテーマで1年間取り組んで来たことを発表しました。

業務改善の取り組みは、事業所の質の向上やスタッフ教育にもつながっています。発表される内容も年々レベルが向上しており、今年度はたくさんの方々が受賞しました。

- QC大賞
 ●**デイケアの家おしどり** テーマ：「送り時、ご利用者が落ち着いて安全に乗車できるようにする」
- ハイパフォーマンス賞
 ●**ほだいじホームヘルパーステーション** テーマ：仕事効率アップに向けての取り組み－LINEWORKを使いこなし連携を高める－
 ●**ほだいじ居宅介護支援センター** テーマ：「質を保って業務の効率化を図り時間的な余裕を作る」
- グッドパフォーマンス賞
 ●**ほだいじ訪問看護ステーション** テーマ：「医療的ケア児の災害時支援の取り組み ～暮らしを地域で支える～」
 ●**法人本部** テーマ：「いつ起きるか分からない災害に備える！」－地震災害時にそれぞれの役割を持つ－
- オーディエンス賞
 ●**中央デイサービスセンターしんあい** テーマ：「おいしく・楽しく元氣ごはん！」－おいしく快適に食事をして頂くための環境整備－

2023年度 新入職員紹介

2023年4月1日には、新卒（大卒）2名、キャリア採用として本部職員1名、ケアワーカー1名、ケアマネジャー1名の合計5名が当法人の仲間に加わりました。今後のご活躍を大いに期待しています。



寄付金・後援会費 感謝報告

2022年9月1日～2023年3月31日
 【順不同敬称略】

森口 孝彦	中田 匡美	日本基督教団 水口教会
増井 武彦	大野 佳子	日本基督教団 同志社教会
森口 まつ江	深見 祥弘・宣子	八子 忠明・美代子
中道 晴夫	富岡 幸生	日本キリスト教団 京都丸太町教会
扇田 紀子	鈴木 妙子	シオン会
森 サワ子	忌部 康子	藤田 孝子
木村 淳子	信愛幼稚園	原田 潔
		甲西伝道所

発行日 2023年6月
 発行責任者 理事長 森口 茂

振込振替口座
 振替口座番号 00960-0-109363
 社会福祉法人 近江ちいろば会
 会費・年額1口 5,000円(何口でも可)

事業内容
 ケアハウス ビスガこうせい／ほだいじデイサービスセンター／ほだいじホームヘルパーステーション／ほだいじ居宅介護支援センター／グループホームほだいじ／中央デイサービスしんあい／小規模多機能型居宅介護 ほだいじみんなの家／みなくちみんなの家(グループホーム、デイサービス、ケアプランセンター)／ほだいじ訪問看護ステーション／デイケアの家おしどり／ゆめとまの家おしどり／ふれあいの家おしどり／食堂

2022年 11月15日 滋賀県老人福祉施設協議会 フードロスの取り組み

【目的】 環境を守り地球にやさしい法人を目指して、2021年度業務改善活動として直営の食堂からできる食品ロス削減、持続可能な開発目標（SDG s）に取り組みました。

【取り組み内容】 食事の材料を発注するときに使用する予定食数と、実際に提供した実施食数を集計し食数の差が最小限になるように食数管理を行いました。また、毎日炊飯しているご飯の残量を記録し、実施食数に対する適正な炊飯量になるよう業務改善に取り組みました。

【成果】 食数管理の取り組みを実施した結果、予定食数と実施食数の差は前年度の平均値と比較すると38.4%削減でき、食品の廃棄を減らすことができました。ご飯の廃棄量も取り組み前と比較すると30%削減することが出来ました。それでも当日、食事申し込み時の食数変動により余ってしまった食材は、職員へ安価で販売し食品ロスの削減に努めています。職員販売分の売り上げは、募金などの寄付として社会貢献の一環としています。



2023年 1月15日 滋賀県認知症フォーラム 有償ボランティアの取り組み

【目的】 環境を守り地球にやさしい法人を目指して、2021年度業務改善活動として直営の食堂からできる食品ロス削減、持続可能な開発目標（SDG s）に取り組みました。

【取り組み内容】 食事の材料を発注するときに使用する予定食数と、実際に提供した実施食数を集計し食数の差が最小限になるように食数管理を行いました。また、毎日炊飯しているご飯の残量を記録し、実施食数に対する適正な炊飯量になるよう業務改善に取り組みました。

【成果】 食数管理の取り組みを実施した結果、予定食数と実施食数の差は前年度の平均値と比較すると38.4%削減でき、食品の廃棄を減らすことができました。ご飯の廃棄量も取り組み前と比較すると30%削減することが出来ました。それでも当日、食事申し込み時の食数変動により余ってしまった食材は、職員へ安価で販売し食品ロスの削減に努めています。職員販売分の売り上げは、募金などの寄付として社会貢献の一環としています。



2023年 1月19日 在宅死亡に関する研修会 テーマ：コロナ禍における看取り (滋賀医科大学主催) ほだいじ小規模多機能型居宅介護 ほだいじみんなの家 所長 看護師 谷本 千秋

【目的】 ほだいじみんなの家での在宅看取りの現状報告

【取り組み内容】 ほだいじみんなの家での在宅看取りの事例を滋賀医科大学で発表いたしました。小規模多機能（一つの事業所で、通い・訪問・お泊り・ケアマネジメント対応）ならではの柔軟な対応を上手く組み合わせる事で通いが難しくなられても訪問に切り替え事業所のスタッフが自宅に伺いケアを行うこと、訪問看護・訪問医と連携を行う事で最期までご本人・ご家族との大切な時間を支える事が出来ました。命の大切さ・家族との時間、在宅介護の大切な事を学びました。これからも在宅看取りの事例は増えてくると思います。ほだいじみんなの家で一事例一事例大切に関わっていきたいと思います。

【成果】 実際に在宅看取りを経験されたご家族様は、途中、不安や心配で辛い時期もあったと思われます。スタッフが思いを聞き一緒に悩み共感する事で気持ちの準備が少しずつ出来たように思います。最後は達成感と慈しみで涙を流して感謝して下さいました。ほだいじみんなの家が最後まで側に寄り添う事が出来て良かったと思っています。今回の発表を通して地域の方にも小規模多機能型居宅介護事業所の特徴や取り組みを知っていただくきっかけになったのではないかと思います。



2023年 2月23日 第41回 滋賀県社会福祉学会 ノーリフトケアの実践報告

【目的】 ほだいじみんなの家での在宅看取りの現状報告

【取り組み内容】 ほだいじみんなの家での在宅看取りの事例を滋賀医科大学で発表いたしました。小規模多機能（一つの事業所で、通い・訪問・お泊り・ケアマネジメント対応）ならではの柔軟な対応を上手く組み合わせる事で通いが難しくなられても訪問に切り替え事業所のスタッフが自宅に伺いケアを行うこと、訪問看護・訪問医と連携を行う事で最期までご本人・ご家族との大切な時間を支える事が出来ました。命の大切さ・家族との時間、在宅介護の大切な事を学びました。これからも在宅看取りの事例は増えてくると思います。ほだいじみんなの家で一事例一事例大切に関わっていきたいと思います。

【成果】 実際に在宅看取りを経験されたご家族様は、途中、不安や心配で辛い時期もあったと思われます。スタッフが思いを聞き一緒に悩み共感する事で気持ちの準備が少しずつ出来たように思います。最後は達成感と慈しみで涙を流して感謝して下さいました。ほだいじみんなの家が最後まで側に寄り添う事が出来て良かったと思っています。今回の発表を通して地域の方にも小規模多機能型居宅介護事業所の特徴や取り組みを知っていただくきっかけになったのではないかと思います。



【福】近江ちいろば会の事業体系

一在宅介護と認知症ケアに重点をおいた質の高いケアー

湖南市エリア

ケアハウス ピスガこうせい	ぼだいじ デイサービスセンター 虹	デイサービス デイケアの家おしどり	障害福祉ホーム ヘルパーステーション
グループホーム ぼだいじ	共用型 デイサービス	認知症デイサービス いこい	ぼだいじ 訪問看護ステーション
小規模多機能型 ぼだいじみんなの家	総合事業 ゆめとまの家おしどり	認知症デイサービス しんあい	法 人 本 部
ぼだいじ 居宅介護支援センター	デイサービス ゆめとまの家おしどり	ぼだいじホーム ヘルパーステーション	食 堂

甲賀市エリア

ケアプランセンター みなくち みんなの家	グループホーム みなくち みんなの家	デイサービス みなくち みんなの家	小規模多機能型 みなくちみんなの家
-------------------------	-----------------------	----------------------	----------------------

各事業所の
取り組み紹介

ぼだいじ訪問看護ステーション

事業所の 特徴

病気が障害があっても、医療機器を使用しても、自宅で最期まで暮らせるよう多職種と協力しながら、24時間365日対応し療養生活を支援します。



2022年度の成果

理学療法士がメインとなり、ぼだいじブレイル教室を開催しました。難病、癌末期の方、精神看護、小児の訪問が増加しました。

2023年度に向けて

個々の能力を向上させて、専門的で満足の高い訪問を提供します。

メンバーの特徴

看護師、リハビリスタッフとともに明るく元気で経験豊富なスタッフばかりです。子育てと仕事を両立し頑張っています。

ぼだいじホームヘルパーステーション

事業所の 特徴

住み慣れた自宅・ご家族との生活が続けられるようにお手伝いします。介護保険利用者はもちろん、湖南市の子育て支援の事業で多胎児さんやひとり親家庭の支援もしています。



2022年度の成果

LINEWORKSの効果的な使い方などに取り組み、職員やケアマネジャーや訪問看護との情報交換や連携が必要な時にスムーズにできるようになった。

2023年度に向けて

情報発信の強化、他の訪問事業所との差別化を図り、ぼだいじならではの連携力やフットワークの良さをアピールします。

メンバーの特徴

30代から60代まで幅広く平均年齢40才と他社と比べても圧倒的に若い！いろんな特技を持った職員が働いています。皆で協力し子育てや介護をしながら頑張っています。

ケアハウス ピスガこうせい

事業所の 特徴

笑い声が絶えない明るいケアハウスです。入居者の皆様と職員も一緒に語り合い、笑い合い、支え合って過ごしています。そして、入居者の皆様お一人おひとりが活き活きと「自分らしい暮らし」が出来るようにと願い運営しています。



2022年度の成果

入居者の皆様がやりたいことをカタチにしようとチャレンジしてきました。移動販売が毎週あり、歌う会や演奏会などの多くの行事をコロナに負けずに開催しました。入居者懇談会では共に考えて決めることを通して、入居者と職員で一緒にピスガこうせいを創って来ました。

2023年度に向けて

せっかく50名もの方々と暮らしているのだからこそ、一緒に楽しめる仲間がいる喜びをしっかりと味わえるケアハウスづくりを入居者の皆様とともに盛り上げていきます。また、コロナでストップしていた地域とのつながりも、リスタートさせていきたいです。「ピスガこうせいの方はみんな活き活きしているね」と言われるケアハウスを目指します。

メンバーの特徴

明るく元気なメンバーです。「ピスガに来ると入居者から元気をもらえる！」と、ピスガに集うことが大好き。20代から70代まで幅広い年代の職員で24時間365日、入居者の皆様の生活を支援しています。職員同士、互いを認め合い、持ち味を活かし合っています。とにかく入居者の皆様に日々幸せを感じてほしい！と願い、毎日頑張っています。

ぼだいじ居宅介護支援センター

事業所の 特徴

それぞれの強みを生かしたチームワークを組んで、ご利用者が自立した生活を送ることができるように相談支援を行っています。また、相談内容も多岐にわたっているため、関係の法律の学びも日々各部門と連携しながら支援を行っています。



2022年度の成果

主任ケアマネジャー配置による特定事業所として、地域課題の解決に向けての取り組みや事業所内での連携に取り組んできました。

2023年度に向けて

地域からの相談を真摯に受け止め、迅速で丁寧な対応を行っています。介護保険制度のもと、他法制度の機関や地域包括支援センターとも連携して、ご利用者の生活を地域の支え合いも大切に受け止めながら支援していきます。

メンバーの特徴

それぞれのメンバーの基礎資格（社会福祉士、看護師、介護福祉士）の視点を活かして、互いにサポートし合えるチームワークのもと相談支援を行っています。誠実に、迅速にをモットーに、住み慣れた地域でその人らしい生活を送ることができるよう、自立支援の視点を大切にしています。

ふれあいの家おしどり

事業所の 特徴

「動くからだと、躍るころろ！」笑顔と会話が絶えない場所です。みなさんから生まれる意見を大切にしています。



2022年度の成果

昨年度もコロナ禍を大きな混乱なく何とかみなさん健康で乗り切れました。感染対策を取りながら季節を楽しむ行事をしたり、四季折々の花や景色を見にドライブに出かけました。外食の替わりのテイクアウトランチも好評でした。

2023年度に向けて

開所6周年を迎えます。介護予防のデイサービスとして、ふれあいの家で「やってみたい・行ってみて」ことが日常生活でも「やってみよう・行ってみよう」となることでみなさんの生活の質が向上することを目指します。さあ、アフターコロナ！

メンバーの特徴

それぞれに個性や特徴があり、バラエティ豊かなメンバーが揃っています！

デイケアの家おしどり

事業所の 特徴

サイドタウンの奥、静かな住宅街の一角にあり周りは木々が茂り、鳥が鳴き、四季折々の花が咲き乱れる素敵な所です。いつも歌声や笑い声が外にこだまし、集う方々の笑顔がいつの日のデイサービスです。



2022年度の成果

機能訓練、生活リハビリ、遊びリレーションで利用者様の生活を支援しました。また法人内の業務改善活動に参加して「利用者様を安全に送迎するため」の取り組みが評価されてQC大賞をいただきました。

2023年度に向けて

日常の生活に必要な筋力を維持するための活動を生活リハビリと位置付け、畑仕事、調理、針仕事、制作、ウォーキング、百歳体操を日々継続し、住み慣れた地域と自宅で長く暮らし続けていただけるように活動していきます。

メンバーの特徴

おしどりの職員は元気！明るい！声に張りがある！利用者様との会話がくもくも笑いあえます。今年度は「どんな人でも笑顔になって帰ることができる」デイサービスを目指します。

中央デイサービスセンターしんあい

事業所の 特徴

軒家を少し改修した、家庭的な環境の中で落ち着ける空間です。認知症状に合わせた個別レクリエーションを提供させて頂き、自信や居場所作りにつけています。「やりたい」「やってみたい」が実現できる事業所です。



2022年度の成果

2022年8月からローソン湖南吉永店様に御利用者様が作成したエコバッグを置かせて頂き社会との繋がりが生まれました。職員の主体性を尊重する事で、御利用者様・職員ともに満足度の向上に繋がることが出来ました。職員に業務を割り振ることで責任感が増し行動力の向上がみられました。LINEWORKSでタイムリーに情報共有することができました。

2023年度に向けて

目標である「元氣になれる認知症対応型通所介護」の実現。認知症状に合わせて、ユニチュードの実施。仕事もプライベートも楽しむ。高みを目指し挑む。達った人との絆を深め、しんあいを育む。

メンバーの特徴

認知症介護に必須の3つのない「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」を心得たメンバーが集まっています。様々な個性を持ったメンバーですが、前向きに捉え「今」を大切にす最高チームです。

食 堂

事業所の 特徴

2023年度の近江ちいろば会「ピスガこうせい」直営の食堂は総勢13名の職員で365日フル稼働体制です。私たち食堂職員は、食を通して利用者様の健康を第一とし、喜ばれる食とホスピタリティを提供すると共に先進的な商品やサービスを通した新しい価値の創造を目指します。



2022年度の成果

昨年度は、各事業所からの要望に関して事業所との連携を行い、利用者様に対してより良いサービス内容の商品が提供できたこと認識しております。自立支援の一環としての食事提供プログラムの拡充、また食事の摂取が難しい利用者様に対しての管理栄養士からの聞き取り・観察に基づく提供方法の考察・改善などを行いました。

2023年度に向けて

今年度の方向性は3つ。ひとつ目は厨房という名称から食堂という名称に名を変え、今まで以上に顧客ニーズに寄り添って、サービスに特化した運営を目指します。ふたつ目はコロナ禍も終焉を迎えたと感じる昨今においても何にも増して安心安全を則とした運営を目指します。みつ目は直営であるというアドバンテージを最大限に活かしたクイックレスポンスで対応できる提供運営を目指します。この三つを本年の柱として、職員全員が利用者の皆様に笑顔をお届けしながら美味しく身体に優しい食事をご提供させていただきたく思っております。

メンバーの特徴

職員それぞれにアクティブでユーモラスな面を持ち寄り助け合いながら運営を展開させていただいております。笑顔にあふれ、笑いのたえない、そんなちいろば会の事業所のひとつです。食堂内全員が1軍で全員がフル出場です。今年度の食堂に乞うご期待ください。

グループホームみなくちみんなの家

事業所の 特徴

街中にあり、本人の意思を尊重した認知症ケアと看取りケアを実践し、地域の中で自然と触れ合うことができる事業所です。今年で開設12年目を迎えます。



2022年度の成果

LINEWORKSの導入により、職員に情報を伝えられ、効率的に情報の共有ができた。看取りケアを3名実施。ご家族や主治医の先生と意見交換をこまめに行えた。11月にミャンマーの技能実習生を2名受け入れた。

2023年度に向けて

入居者、職員共に長くグループホームで安心して過ごすことができるようなケアを実践する。入居者の現在の身体機能の維持と生活の満足度の向上に努めていく。働きやすさの向上、エンパワーメント等を行う。入居者・ご家族、地域との交流の機会の再開（アフターコロナ）ノーフットケアの積極実施、福祉用具の活用、環境設定の変更で不良姿勢の改善

メンバーの特徴

介護福祉士、看護師、歯科医師、栄養士、ミャンマー技能実習生等、多様な多才のメンバーが活躍しています。良いコミュニケーションで働きやすい職場です。

デイサービスセンターみなくちみんなの家

事業所の 特徴

1日定員10名の小さなデイサービスです。ご利用者さんが家での生活が継続できるよう「心も身体も元気になるデイサービス」を目指して、小さいからこそご利用者さんの「気持ちに寄り添える」「安心できる」デイサービスになるよう職員皆で頑張っています。



2022年度の成果

ご利用者さんやご家族の気持ちに寄り添える取り組みの実施。「誕生日のリクエストメニュー」「感謝カード」...など。取り組みや想いを知って頂けるよう、定期的なSNSでの発信を始めました。

2023年度に向けて

ご利用者さんが、家での生活が続けられるように、心も身体も元気になる生活を考え続けていきます。また、介護をされているご家族の気持ちにも寄り添い、介護の負担が少しでも軽くなるような取り組みを行っています。

メンバーの特徴

優しく素直でご利用者さん想いの職員ばかりです。

ぼだいじデイサービスセンター虹

事業所の 特徴

デイサービス虹は「適切な介護方法の提供と自立支援」「充実した入浴設備」「理学療法士による機能訓練」など身体機能の維持向上に特化したデイサービスです。また、選択制のプログラムメニューを用意していますので、自分のやりたいことをご自身で選んでいただけます。



2022年度の成果

デイサービス虹はノーフットケア®(抱え上げない介護)に取り組んでいます。利用者様お一人お一人の身体状況に合わせた適切な介護方法を選択することで、利用者様自身の力を活用し、身体機能と生活意欲の向上に努めています。

2023年度に向けて

今年度からは選択制プログラムに「買い物外出」「歌声コンサート」「カラオケ」などの新しいプログラムを取り入れました。利用者様の「ワクワクが止まらない楽しいデイサービス」を目指します。

メンバーの特徴

地域一番店を目指す「高い介護技術」に加え「笑顔」と「元気」を兼ね備えたスタッフがそろっています。

ゆめとまの家おしどり

事業所の 特徴

広い畑と庭があり、どこにいてもあんなような民家で、とてもアットホームでどこか懐かしいと言ってください。生活リハビリと園芸リハビリに取り組んでいます。



2022年度の成果

生活リハビリと園芸活動、そして「ちよいケア」を一年間通して取り組みました。

2023年度に向けて

心通い合うホッとする「ゆめとま」を目指します。人との関わりを大切にしながら、自然な形で生活リハビリと園芸リハビリをより深めたいと、心身が元気になっていただけるようチームで連携して取り組んでいきたいと思っています。

メンバーの特徴

幅広い年齢層で、持ち味も様々思い様々！みなさまお一人おひとりと、心通わせながら向き合っていきたいと思っています。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

ぼだいじみんなの家

事業所の 特徴

共に生きる あなたの人生の伴走者 ぼだいじみんなの家 顔なじみの職員が送迎や訪問、お泊まりの対応をするので安心して過ごしていただけます。スピーディでスマートでスペシャルなケアを目指します。



2022年度の成果

宿泊できる日を増やし、宿泊を上手に利用しながらの柔軟な利用の提供を行いました。ミャンマーの留学生の教育も実施しました。在宅看取りの出来る体制を整えました。

2023年度に向けて

地域と連携して研修会と勉強会の開催を行います。(看取り・ノーフットケア)ノーフットケアの取り組み リフトの導入をします。毎日の宿泊を行い宿泊希望の方の受け入れ数アップを目指します。

メンバーの特徴

職員全員が仲良く、のびのびと仕事ができる職場です。仕事に熱心な職員が多く活発にコミュニケーションが取れています。違い・訪問・泊まり・送迎など、何でもこなせるマルチな職員の育成に力を入れており、質の高いチームケアが提供できます。

ぼだいじデイサービスセンターいこい

事業所の 特徴

「自分らしく、私らしく」、家では出来にくくなったことでも、いこいでは、継続出来るように、支援しています。利用者による有償ボランティア活動を通して、本人の威厳を保ちます。



2022年度の成果

滋賀県認知症フォーラムで、利用者が行っている有償ボランティア活動の発表を行いました。認知症地域支援推進事業の一環の啓発活動として、「認知症になっても住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるために」をテーマに講演会を行いました。多くの方が聞きに来て下さり、たくさんのご意見や感想を頂きました。認知症への関心の高さが伺えました。

2023年度に向けて

「もう1つの家族」と言われるように、利用者が心地よく居られる居場所となれるように、利用者がしたい事、自然に身体が動く事、心に残るような活動を提供していきます。いつまでも口から物が食べられるように、「口腔ケア」を、しっかり行います。

メンバーの特徴

アイデアがいろいろ出でてきて、楽しさが満載、いつも笑いがあります。若手もベテランもお互いを思いやり、支え合い、切磋琢磨しています。

法人本部

事業所の 特徴

経理、人事労務、介護保険請求、総務、地域貢献、DX化を中心とした業務改善等の専門業務を通して、法人運営、各事業所の健全運営をサポートする個性豊かな集団です。



2022年度の成果

昨年度の重点取り組みの一つ、みなくち小規模多機能の用地買収、建築設計の確定、補助金申請手続きなど開設に向けての準備を着実に進められました。また、地域支援事業の一環として、民生委員の見学会受入れや認知症講演会のサポートにも寄与できました。さらに、職員寮の運用、新卒2名、外国人留学生、技能実習生4名の雇用と「職員推薦紹介制度」による新たな雇用制度の導入が図れました。

2023年度に向けて

12月1日開設に向けてみなくち小規模多機能の建設の進捗管理や人材確保など計画に沿った立上げに注力します。また、法人内のDX化の取り組みとして給与明細、年末調整のWeb化、ネットワーク環境の整備を図ります。採用面では独自の採用サイトの立ち上げなどを通して新卒採用、適材適材のキャリア採用など人材拡充に努めます。さらには、法人夏祭りの復活や地域支援事業等の継続、災害BCPの策定と運用に取り組めます。

メンバーの特徴

今年度から新たに事務局長が加わり、さらにパワーアップし、事業所の困りごとを各専門スタッフが解決できるよう努めてまいります。

ケアプランセンターみなくちみんなの家&厨房

事業所の 特徴

住み慣れた地域やご自宅に必要なサービスを利用しながらその人らしく在宅生活が営めるよう、相談や計画立案、連絡、調整を総合的に引き受け支援しています。



2022年度の成果

地元の方に身近に感じていただき、新規のお客も増えてきています。甲賀市の地域包括の方からも信頼されていると感じることが増えました。

2023年度に向けて

小規模多機能型居宅介護みなくちみんなの家の開設に向けて引き続きお客様の新規獲得を行っていきます。また、本年度は甲賀湖南圏域の介護支援専門員連絡協議会の理事となっており、今まで以上に地域活動にも貢献していきたいと思っています。

メンバーの特徴

ケアプランセンター：明るく元気で個性のあるケアマネジャーです。厨房：おもてなしの心が行き届いた食事の提供を心掛けています。デイサービスやグループホームの利用者の皆さん、職員の皆さんが楽しみにして下さっています。